

令和4年度から“シン化した普通科”『地域科学科』を設置します。

県教育委員会は6月8日、「文部科学省の『普通科改革』の動きを踏まえて、松浦高校の普通科にかえて、地域科学科を導入する」と公表しました。

これにより、令和4年度の松浦高校入学者選抜・募集定員は、地域科学科（2学級80名）、商業科（1学級40名）となります。

新聞の報道等で地域科学科のことを知った皆さまは、たくさん疑問をお持ちになったと思います。そこで、松浦高校に導入される「地域科学科」についてQ&A形式でお知らせします。

Q1 地域科学科は、普通科なのか
A1 普通科（正式には、「普通教育を主とする学科）」です。

学校教育法施行規則の改正等により、特色や魅力ある教育内容を表現する名称を学科名とすることが可能となり、普通科にかえて、**県内初の地域科学科**を導入することとなりました。

地域科学科は、国公立大学を含む上級学校への進学、商業科は企業等への就職を主な進路先とした教育活動を進めます。

Q2 名称が変わるだけなのか

A2 地域科学科は、これまでの普通科における学びを継承・発展（シン化）させ、「科学的・実践的な学び」に重点的に取り組む学科です。

地域科学科のキャッチフレーズとコンセプトは以下のとおりです。

「キャッチフレーズ」

松高にしかない**シン（深・伸・進）**

化した普通科 それが「地域科学科」

「コンセプト」

キャリアアップランニングに応じた「普通科目の学び」と「地域課題解決型学習（まっナビ）」を「**深め**」、社会の変化に対応できる「課題解決能力」と「ふるさとを大切にする姿勢」を身につける（**伸ばす**）ことで、キャリア形成（**希望する「進路」の実現**）を図る学科

Q3 「科学的・実践的な学び」とは何か？

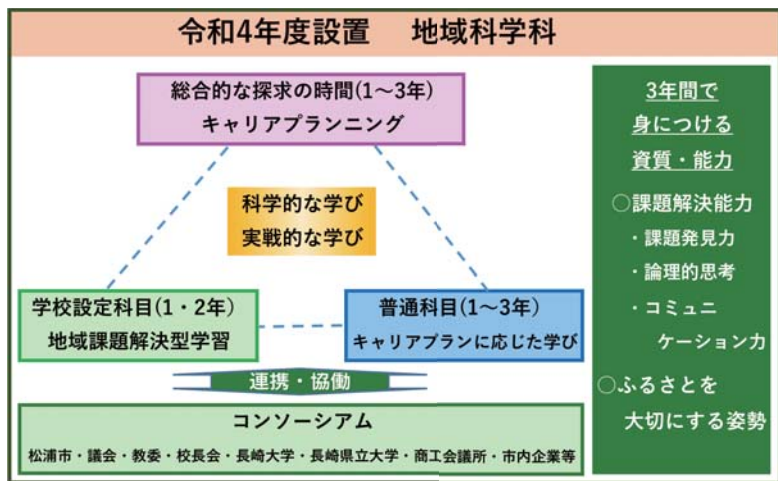
A3 次の3つの学びを関連づけ、深めていく学びのことです。

①総合的な探究の時間での、自らの「将来像や役割（職業）」について調べ、考察、判断（決断）する「キャリアアップランニング」

②松高独自の地域課題解決型学習「まっナビ」地域課題について調査・考察し、解決策を発表・実践する探究活動

③キャリアアップランニングに応じた普通科目（国数「社」理英など）の学び

今後の国公立大学入試等で必要となる、課題解決型の「思考力・判断力」等を育成する「科学的な学び」、実社会とリンクするコミュニケーション力（傾聴、対話、発信）などを育む「実践的な学び」を、①②③の3つの学びを関連付けながら実現していきます。



※松浦高校では、令和2年度から県内で唯一「文部科学省の指定事業」に取り組んでいます。

令和3年3月卒業(普通科)進学先一覧

分類	進学者数	主な進学先
国公立大	9	広島大・長崎大・佐賀大・長崎県立大
私大・短大	20	法政大・立教大・長崎国際大・鎮西学院大
高等看護	6	佐世保市立看護・宗像看護
専門学校等	21	佐世保高技専・武雄リハビリ

継承・発展

令和4年度設置 地域科学科

生徒1人ひとりのキャリアプランに応じた進路実現

Q4 卒業後の進路はどうなっているのか？
A4 これまで普通科では、「国公立大学」「私立大学・短期大学」「高等看護学校」「専門学校等」への進学を実現してきました。

地域科学科では、個別指導を中心としたこれまでの進路実現に向けた取組に加え、「科学的な学び」や「実践的な学び」を深めることで、国公立大学の入学試験等で求められる「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう姿勢」を育成し、生徒一人ひとりの「キャリアプラン」に応じた進路実現（キャリア形成）を進めていきます。